

IASB 公開草案「Classification and Measurement: Limited Amendments to IFRS 9  
(分類及び測定：IFRS 第9号の限定的な修正)」に対するコメント

国際会計基準審議会 (IASB) は、負債性金融商品について、企業の事業モデルに基づいて、その他の包括利益を通じて公正価値で測定する測定区分 (FVOCI) の導入を提案することを内容として、2012年11月28日、標記公開草案を公表した。なお、IASBは金融商品の会計処理について、2012年1月、①狭い範囲の適用上の疑問点の明確化、②米国財務会計基準審議会 (FASB) の暫定的な分類・測定モデルとの主要な差異の削減、③金融資産の分類及び測定と保険契約負債の会計処理との間の相互関係の考慮を行うための限定的な修正を検討することを決定している。

経理委員会では、これに対し、IFRSと米国会計基準との間の比較可能性を向上につながることを評価しつつ、新たなOCIが発生することについて早急に概念フレームワークにおいて純利益及びOCIの定義を整理・開発することを求め、負債性金融商品と資本性金融商品において生じている不整合に対する合理的な説明を求めることなどを内容とする意見を取り纏め、2013年3月27日、IASBに提出した。

---

2013年3月27日

国際会計基準審議会 御中

一般社団法人 日本貿易会  
経 理 委 員 会

「Classification and Measurement: Limited Amendments to IFRS 9」  
に対するコメントについて

以下は、国際会計基準審議会 (IASB) の公開草案「Classification and Measurement: Limited Amendments to IFRS 9」に関する意見募集に対する一般社団法人日本貿易会経理委員会のコメントである。一般社団法人日本貿易会は、日本の貿易商社及び貿易団体を中心とする貿易業界団体であり、経理委員会は、同会において本邦会計基準及び国際会計基準への対応を主な活動内容の一つとしている。(末尾に当会の参加会社を記載。)

## 1. 総論

本提案は米国財務会計基準審議会 (FASB) の金融商品に関する暫定的な分類及び測定のモデルとの主要な相違点を減らすという FASB との共通の目的に従って作成されており、IFRS に従って作成された財務諸表と US GAAP に従って作成された財務諸表との間の比較可能性を向上させることになることを評価する。引き続き、金融商品会計全般について両者の基準差異を縮小できるよう継続して検討頂きたい。

しかし、本提案により新たな OCI が発生することとなるが、早急に概念フレームワークにおいて純利益及び OCI の定義を整理・開発することを求める。

負債性金融商品について 2 つの目的を有する事業モデルが認められ、OCI のリサイクルが提案されている。資本性金融商品についても同様に戦略的長期保有と最終的な有利撤退という 2 つを目的とする事業モデルがあるが、OCI のリサイクルは要求されておらず、負債性金融商品と資本性金融商品に不整合が生じている。この不整合に対する合理的な説明を求める（下記質問 4 にも記載）。

また、基準化の際には財務諸表作成者の立場にも配慮し、実務上運用可能な重要性の判断指標や例示の追加提供等を検討願いたい。

## 2. 各論（各質問に対するコメント）

### 【Question 1】

Do you agree that a financial asset with a modified economic relationship between principal and consideration for the time value of money and the credit risk could be considered, for the purposes of IFRS 9, to contain cash flows that are solely payments of principal and interest? Do you agree that this should be the case if, and only if, the contractual cash flows could not be more than insignificantly different from the benchmark cash flows? If not, why and what would you propose instead?

（元本と貨幣の時間価値及び信用リスクの対価との間の改変された経済的關係は、IFRS 第 9 号の目的上、元本及び利息の支払のみであるキャッシュ・フローを内容としていると考えることができることに同意するか。これが当てはまるのは、契約上のキャッシュ・フローとベンチマーク・キャッシュ・フローとの相違が重大でない場合であり、かつ、その場合のみであることに同意するか。同意しない場合には、その理由は何か。また、その代わりにどのような提案をするか。）

（回答）

同意する。

特殊条件下の取引の経済的実態を理想的条件下のそれと比較することは、原則主義下における当然のアプローチと考える。

### 【Question 2】

Do you believe that this Exposure Draft proposes sufficient, operational application guidance on assessing a modified economic relationship? If not, why? What additional guidance would you propose and why?

（本公開草案は、改変された経済的關係の評価について十分に運用可能な適用指針を提案していると考えられるか。そう考えない場合には、その理由は何か。どのような追加のガイダンスを提案するか、また、その理由は何か。）

（回答）

同意する。

### 【Question 3】

Do you believe that this proposed amendment to IFRS 9 will achieve the IASB' s objective of clarifying the application of the contractual cash flow characteristics assessment to financial assets that contain interest rate mismatch features? Will it result in more appropriate identification of financial assets with contractual cash flows that should be considered solely payments of principal and interest? If not, why and what would you propose instead?

(この IFRS 第 9 号の修正案は、金利のミスマッチの要素を含んだ金融資産への、契約上のキャッシュ・フローの特性の評価の適用を明確化するという目的を達成すると考えるか。元本及び利息の支払のみと考えるべき契約上のキャッシュ・フローを有する金融資産をより適切に識別することになるか。そう考えない場合には、その理由は何か。また、その代わりにどのような提案をするか。)

(回答)

同意する。

### 【Question 4】

Do you agree that financial assets that are held within a business model in which assets are managed both in order to collect contractual cash flows and for sale should be required to be measured at fair value through OCI (subject to the contractual cash flow characteristics assessment) such that:

- (a) interest revenue, credit impairment and any gain or loss on derecognition are recognised in profit or loss in the same manner as for financial assets measured at amortised cost; and
- (b) all other gains and losses are recognised in OCI?

If not, why? What do you propose instead and why?

(契約上のキャッシュ・フローの回収と売却の両方の目的で資産を管理している事業モデルの中で保有されている金融資産については、次のようにして、OCI を通じて公正価値で測定することを要求すべきであることに同意するか (契約上のキャッシュ・フローの特性の評価を条件とする)。

- (a) 金利収益、信用減損及び認識の中止時の利得又は損失は、償却原価で測定する金融資産と同じ方法で純損益に認識する。
- (b) 他のすべての利得及び損失は OCI に認識する。

同意しない場合、その理由は何か。その代わりにどのような提案をするか、また、その理由は何か。)

(回答)

同意する。

現行の金融資産の分類における基本概念が維持されており、また保険の会計基準や米国会計基準と整合が図られる修正である点は評価するが、以下の項目につき再整理・再検討頂きたい。

#### 【カテゴリー区分の判断基準の明確化】

新たなカテゴリーである「負債性金融商品の FVTOCI」区分を導入することには賛成であるが、各カテゴリーに区分する判断基準が曖昧であり、企業の判断が恣意的となり得ること、また監査人への説明も困難となることが予想される。すなわち、本提案における曖昧な判断基準ではカテゴリーを増やすことが利用者の有用性の大幅な向上になるとは考え難いため、カテゴリー区分の判断基準につき客観的かつ明確化することを検討頂きたい。

#### 【FVTOCI におけるリサイクル/ノンリサイクルの整理】

保険の会計基準や米国会計基準と整合が図られる修正と判断しているが、「1. 総論」でも述べている通り、「負債性金融商品に FVTOCI」区分と「資本性金融商品の FVTOCI」区分において、リサイクルの要求に不整合が生じている為、不整合に対する合理的な説明を求めらる。

#### 【Question 5】

Do you believe that the Exposure Draft proposes sufficient, operational application guidance on how to distinguish between the three business models, including determining whether the business model is to manage assets both to collect contractual cash flows and to sell? Do you agree with the guidance provided to describe those business models? If not, why? What additional guidance would you propose and why?

(本公開草案は、3つの事業モデルを区別する方法に関する十分に運用可能な適用指針を提案していると考えるか(事業モデルが、契約上のキャッシュ・フローの回収と売却の両方の目的で資産を管理することであるかどうかの決定を含む)。それらの事業モデルを記述するために提供しているガイダンスに同意するか。同意しない場合、その理由は何か。どのような追加のガイダンスを提案するか、またその理由は何か。)

(回答)

同意しない。

米国基準との差異を解消しうるガイダンスとなっている点については評価するが、以下の項目につき再検討頂きたい。

#### 【事業モデルの判断基準の明確化、包括的な資金運用を行う企業への配慮】

B4. 1. 4B の「例 1~3」には明確な資金用途(数年後の資金的支出・日常的流動性ニーズ・保険契約負債への対応)の記載があるが、明確な資金用途の有無を判断基準とすることを意図している場合、それを明記すべき。但し、小規模な単一事業会社であれば金融資産とその用途との紐付関係が明確にできるかもしれないが、多種多様な事業を行っており、多種多様な資金ニーズの為に包括的な資金運用を行っているような大規模な企業においては、例示のような単純化された判断は困難であり実務的ではないと考える。

また、企業の事業モデル 1「契約上のキャッシュ・フローの回収」及び 2「契約上のキャッシュ・フローの回収と売却の両方」のそれぞれの判断基準を明確化することによって、残された 3つ目の事業モデルも自ずと明確になると考える。

### 【Question 6】

Do you agree that the existing fair value option in IFRS 9 should be extended to financial assets that would otherwise be mandatorily measured at fair value through OCI? If not, why and what would you propose instead?

(IFRS 第 9 号における既存の公正価値オプションを、そうでなければ強制的に OCI を通じて公正価値で測定される金融資産に拡張することに同意するか。同意しない場合、その理由は何か。また、その代わりにどのような提案をするか。)

(回答)

同意する。

### 【Question 7】

Do you agree that an entity that chooses to early apply IFRS 9 after the completed version of IFRS 9 is issued should be required to apply the completed version of IFRS 9 (ie including all chapters)? If not, why? Do you believe that the proposed six-month period between the issuance of the completed version of IFRS 9 and when the prohibition on newly applying previous versions of IFRS 9 becomes effective is sufficient? If not, what would be an appropriate period and why?

(IFRS 第 9 号の完成版の公表後に IFRS 第 9 号の早期適用を選択する企業に、IFRS 第 9 号の完成版（すなわち、すべての章を含んだもの）の適用を要求することに同意するか。同意しない場合、その理由は何か。IFRS 第 9 号の完成版の公表と IFRS 第 9 号の過去の版の新規適用の禁止の発効時期との間の 6 か月の期間は十分と考えるか。そう考えない場合、どのような期間が適切か、また、その理由は何か。)

(回答)

IFRS 第 9 号の完成版の適用を要求することには同意するが、「6 か月の期間」は十分とは考えない（質問 9 にも詳述）。

(理由)

IFRS 第 9 号の完成版の公表と IFRS 第 9 号の過去の版の新規適用の禁止の発効時期との間の期間は、最後に最終化されるパートで提示されるモデルにもよるが、最低 1 年程度必要と考える。

また本草案 BC93 では本草案と減損パートの適用は一体を前提としているとあるが、本草案で提起されるモデルに関して IAS 第 39 号の減損モデルと技術的に不整合が生じる分はないと考えられる。最終化のタイミングに大幅なズレが生じることも十分に想定されるため、本草案は独立的であるとの前提に立つべきである。

### 【Question 8】

Do you agree that entities should be permitted to choose to early apply only the ‘own credit’ provisions in IFRS 9 once the completed version of IFRS 9 is issued? If not, why and what do you propose instead?

(IFRS 第 9 号の完成版の公表後に、IFRS 第 9 号の「自己の信用」の定めのみを早期適用す

る選択を企業に認めることに同意するか。同意しない場合、その理由は何か。また、その代わりにどのような提案をするか。)

(回答)

同意する。

### 【Question 9】

Do you believe there are considerations unique to first-time adopters that the IASB should consider for the transition to IFRS 9? If so, what are those considerations?

(IFRS 第9号への移行に関してIASBが考慮すべき初度適用企業に特有の考慮事項があると考えるか。その場合、どのような考慮事項なのか。)

(回答)

特有の考慮事項があると考える。

(理由)

わが国の多くの企業はIFRS第9号の任意の版を適用可能との前提で準備を進めているが、斯かる企業が最初に開示する時点でIFRS第9号は完成している可能性がある。初度適用企業に対して何らの経過措置もない場合、当該企業は極めて短期間にIFRS第9号完成版の適用準備を全うするか、IFRS第9号の適用を全て断念し一時的に旧基準であるIAS第39号の適用に切り替えるかの決断を迫られることになると考えられる。特に2014-15年に開示を予定している企業は既に移行日BSの準備もしくは作成を終えており、いずれの対応も現実的に極めて困難である。従い、初度適用企業についてはIFRS第9号完成以後も、一定期間はIFRS第9号完成版以外の版の適用を容認することを求める。また、IFRS第9号完成以前に一般ヘッジが最終化された場合の版の取扱や、IFRS9完成の定義(ポートフォリオヘッジを含むのか否か等)を明確化することを求める。

### 【上記の各質問の他に検討を求めるもの】

#### 1. 金融資産の分類変更に関する提案

B4.4.10では、企業は事業モデルの目的が変更される場合に、金融資産の再分類を要求される。また、BC4.119では、分類変更は翌報告期間の期首から行う事とされている。その理由は、企業が会計上の目的を達成する為に分類変更日を選択する様な事をさせない為、とされている。

<当該案に対する意見>

再分類日は、金融商品が管理されている方法と整合的な会計処理を財務諸表に反映するという目的を達成する為、事業モデル変更が生じた期の報告期間の末日とすべきである。企業が会計上の目的を達成する為に分類変更日を選択する様な事をさせないという目的よりも、分類変更を変更した報告期間に財務諸表へ反映させる事の方が有用性が高いと考える。

## 2. 元本と貨幣の時間価値及び信用リスクの対価との間の改変された経済的關係

(契約上のキャッシュ・フローの特性の評価につき、Question 1～3とは別に独立表記する)

4.1.3で利息は「貨幣の時間価値」及び「信用リスク」への対価と規定されている。一方で、「貨幣の時間価値」及び「信用リスク」と関連のない対価を判断する際には、重要性を踏まえるべきであるが、その点が基準書及び本限定的修正では不明確である為、明確にすべきと考える。

以 上

**一般社団法人日本貿易会**

〒105-6106

東京都港区浜松町 2-4-1

世界貿易センタービル 6 階

URL <http://www.jftc.or.jp/>

**経理委員会委員会社**

CBC 株式会社

蝶理株式会社

阪和興業株式会社

株式会社日立ハイテクノロジーズ

稲畑産業株式会社

伊藤忠商事株式会社

岩谷産業株式会社

JFE 商事株式会社

兼松株式会社

興和株式会社

丸紅株式会社

三菱商事株式会社

三井物産株式会社

長瀬産業株式会社

野村貿易株式会社

神栄株式会社

双日株式会社

住金物産株式会社

住友商事株式会社

豊田通商株式会社

ユアサ商事株式会社



Document No. 324

27 March, 2012

Accounting & Tax Committee  
Japan Foreign Trade Council, Inc.

To the International Accounting Standards Board

Comments on “Classification and Measurement: Limited Amendments to IFRS  
9”

The following are the comments of the Accounting & Tax Committee of the Japan Foreign Trade Council, Inc. (JFTC) made in response to the solicitation of comments regarding the International Accounting Standards Board Exposure Draft “Classification and Measurement: Limited Amendments to IFRS 9”. The JFTC is a trade-industry association with trading companies and trading organizations as its core members, while the principal function of its Accounting & Tax Committee is to respond to developments in domestic and international accounting standards. (Member companies of the Accounting & Tax Committee of JFTC are listed at the end of this document.)

## **I. General Comments**

We highly appreciate that the proposed amendments were drafted in accordance with a goal held commonly with the FASB, which is to reduce key differences with the FASB’s tentative classification and measurement model for financial instruments, and that the proposed amendments will improve comparability between financial statements prepared based on IFRS and those based on US GAAP. We request that further and continued efforts be made toward reducing the disparity between the two accounting standards in financial instruments accounting in general.

However, we note that a new OCI item would be created under the proposed amendments. Therefore, we request that definitions of net income and OCI be

clarified and developed within the Conceptual Framework without delay.

A business model with two objectives concerning debt instruments is presented, and a proposal is made for recycling OCI. Similarly, in the case of equity instruments, a business model is presented with the two objectives of strategic long-term holding and selling at advantage, but OCI recycling is not required. As a result, treatments of debt instruments and equity instruments are inconsistent. We request that a rational explanation be given for this inconsistency. (This request is repeated under Question 4 below.)

Furthermore, in the development of standards, we request to pay attention to the position of preparers of financial statements and that thought be given to providing additional examples and administratively operable criteria of importance.

**II. Specific Issues (Comments on Questions)**

**Question 1**

Response:

We agree with the proposal..  
In a principle-based approach, it is natural to compare the economic reality of transactions under special conditions and ideal conditions.

**Question 2**

Response:

We agree with the proposal.

**Question 3**

Response:

We agree with the proposal.

#### **Question 4**

Response:

We agree with the proposal.

The basic concepts of the current classification of financial assets are maintained, and we appreciate the fact that amendments have been made to achieve consistency with the IASB's Insurance Contracts project and the US Financial Accounting Standards Board's (FASB) tentative classification and measurement model for financial instruments. However, we request that the following matters be reexamined and reconsidered.

#### **Clarification of category criteria**

We support the introduction of a fair value through other comprehensive income (FVTOCI) measurement category for debt instruments as a new category. However, criteria defining individual categories are unclear and there is a concern that these criteria may leave room for arbitrary decisions by entities. In addition, due to this ambiguity, providing explanations to auditors is expected to be difficult. That is, it is unlikely that increasing the number of categories based on the ambiguous criteria proposed will significantly improve usefulness for users. Therefore, we request that clear and objective criteria be considered for defining categories.

#### **Recycle and non-recycle in FVTOCI**

We believe that the amendment was made to achieve consistency with the IASB's Insurance Contracts project and FASB's tentative classification and measurement model for financial instruments. However, as noted under "I. General Comments," inconsistency exists between recycling requirements under 'fair value through OCI' category for debt instruments and 'fair value through OCI' category for equity investments. Therefore, we request a clear and appropriate explanation be given for this inconsistency.

## Question 5

Response:

We do not agree with the proposal.

While we appreciate the provision of guidance that will help reduce differences with FASB's tentative classification and measurement model for financial instruments. However, we request that the following matter be reconsidered.

### **Clarification of business model criteria, and consideration for entities conducting comprehensive asset management**

Examples 1–3 of paragraph B4.1.4B provide specific examples of purposes for asset management (capital expenditure anticipated in a few years, everyday liquidity needs, and funding for insurance contracts liabilities). However, if the intent is to use the existence of clear criteria for purpose of asset management as criteria, this intent should be explicitly stated in Examples 1–3 of paragraph B4.1.4B. In the case of small single-operation entities, it might be possible to establish a clear relation between financial assets and their use. However, in the case of large entities which are engaging in a wide variety of operations and facing diverse funding needs, it might be impossible and impractical to conduct comprehensive asset management. For such entities, it would be difficult and impractical to make determinations based on the simplified criteria presented in the examples.

We believe that by clarified the criteria both business model 1 'in order to collect contractual cash flows', and business model 2 'both in order to collect contractual cash flows and for sale', the attributes of the remaining third business model would be clarified.

## Question 6

Response:

We agree with the proposal.

## **Question 7**

Response:

We agree to requiring the application of 'the completed version of IFRS 9'. However, we do not believe 'the proposed six-month period' is sufficient. (Detailed response is also given under Question 9.)

Reasons:

We believe that an appropriate period (between the issuance of the completed version of IFRS 9 and when the prohibition on newly applying previous versions of IFRS 9) is to be at least one year. (However, it might depend on models presented ultimately in the finalized chapters.

Paragraph BC93 of the present ED states that the 'proposed amendments to IFRS 9 and the new impairment model are best applied together as a package'. However, we believe there will be no technical inconsistencies between the models proposed in the ED and the impairment model of IAS 39. Since significant delays in finalization are quite conceivable, we believe the present ED should be treated as being independent.

## **Question 8**

Response:

We agree with the proposal.

## **Question 9**

Response:

We believe there are considerations.

Reasons:

Many entities in Japan are making preparations for adopting IFRS under the assumption that any versions of IFRS 9 will be applicable. It might be issued the

completed version of IFRS 9 at the time when these entities are making their first disclosures under IFRS. If there are no transitional measures for first-time adopters, such entities would be forced to correspondent either complete their preparations for applying the completed version of IFRS 9 during a very short period, or switch temporarily to applying the previous standard of IAS 39 (it means that completely forgoing the application of IFRS 9). In particular, entities scheduled to adopt IFRS during FY 2014–15 are already preparing or have already completed their balance sheets at the date of transition. Thus, realistically speaking, it would be extremely difficult to act on either of the two options mentioned above. Therefore, we request that first-time adopters be permitted to apply any versions under assumption other than the completed version of IFRS 9 for a certain period of time even after the issuance of the completed version of IFRS 9. We also request that the following matters be clarified: treatment of version in case general hedge accounting is finalized before the completion of IFRS 9, and the definition of the completion of IFRS 9 (i.e., whether or not portfolio hedging is included).

## **[Requests on Matters Other than Above Questions]**

### **1. Proposal on Reclassification of Financial Assets**

According to paragraph B4.4.1, entities would be required to reclassify financial assets if the objective of the business model for managing those financial assets changes. Paragraph BC4.119 (IFRS9) stipulates that reclassification should take effect from the beginning of the following reporting period. The reason given is that entities should be prevented from choosing a reclassification date to achieve an accounting result.

Comment on the Proposal:

In order to achieve the purpose of reflecting in financial statements accounting treatment which is consisted with the method of management of financial instruments, the reclassification date should be defined as the last day of the reporting period in which the objective of the business model has changed. We believe that it is higher utility not preventing entities from choosing a reclassification date to achieve an accounting result but reflecting reclassification in the financial statements of the reporting period in which reclassification has been effected.

## **2. Modified Economic Relationship between Principal and Consideration for Time Value of Money and Credit Risk**

(We wish to comment on contractual cash flow characteristics assessment independently of Questions 1–3.)

Paragraph 4.1.3 stipulates that interest is consideration for the time value of money and for credit risk. On the other hand, importance should be taken into account when assessing a consideration unrelated to time value of money or credit risk. As this point remains unclear in both the Standard and these Limited Amendments, we request clarification of this matter.

## **Japan Foreign Trade Council, Inc.**

World Trade Center Bldg. 6th Floor,  
4-1, Hamamatsu-cho 2-chome,  
Minato-ku, Tokyo 105-6106, Japan  
URL. <http://www.jftc.or.jp/>

## **Members of the Accounting & Tax Committee of JFTC**

CBC Co., Ltd.  
Chori Co., Ltd.  
Hanwa Co., Ltd.  
Hitachi High-Technologies Corporation  
Inabata & Co., Ltd.  
ITOCHU Corporation  
Iwatani Corporation  
JFE Shoji Trade Corporation  
Kanematsu Corporation  
Kowa Company, Ltd.  
Marubeni Corporation  
Mitsubishi Corporation  
Mitsui & Co., Ltd.  
Nagase & Co., Ltd.  
Nomura Trading Co., Ltd.  
Shinyei Kaisha  
Sojitz Corporation  
Sumikin Bussan Corporation  
Sumitomo Corporation  
Toyota Tsusho Corporation  
Yuasa Trading Co., Ltd.